

[行政] 課 経 営 計 画 書 (総 括 表)

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H25 年度計画額 (単位：千 円)		H25 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	法制執務事務事業	B	10,196	0	0.5	
2	情報公開・個人情報保護事業	B	928	0	0.3	
3	非核平和推進事業	B	788	0	0.3	
4	行政対応事務事業	B	20,588	96	1.0	
5	設計・契約等適正化事業	B	101	0	1.0	
6	財産管理事業	A	41,038	0	0.5	
7	公用車管理事業	B	19,061	0	0.5	
8	庁内LANシステム運用事業	B	18,170	0	0.5	
9	電子計算運用事業	A	149,851	12,600	0.5	
10	選挙管理委員会事業	B	533	2	0.8	
11	各選挙事業	B	28,966	17,096	0.5	
12	統計事業	B	1,450	1,440	0.5	
13	土地取得特別会計事業	B	184	0	0.1	
合 計			291,854	31,234	7.0	

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	1
事業名	法制執務事務事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な行財政運営
	小分類		
目的	法規等に係る事務を適切に行うことで町行政運営の維持向上に努める。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例規審査会の開催 ・ 例規審査会事前内容確認 ・ 法規等追録 ・ 例規集追録 ・ 法令、例規システム管理等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 告示、公告事務 ・ ・ ・ ・ 	
現在における 経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 法律の改正が多く行われ、それに伴う条例等の改正を必要とする件数が増加している。 2 加除式図書の追録費の見直し。 		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<ol style="list-style-type: none"> 1 新例規システムの例規案確認機能などを活用し、法制執務事務を効率及び正確さを向上させる。 2 加除式図書の利用状況を確認し、インターネット情報サービス（判例システムD1-Low等）の活用を提案し、必要なものと代替えが利くものとを精査し、追録費の削減に努める。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	加除式出版書籍の見直し
6	新例規システムの操作説明会の開催
11	地域主権一括法（第4次）に関する情報の収集

□3年間の目標

目標						
	・					
	・					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・
H27 年度	・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	8,676	10,290	10,196
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工	0.7	0.5	0.5
	臨時職員	人工			
	計	人工	0.7	0.5	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 1 新例規システムの例規案確認機能を活用して改正文の文面のチェックなどを行い、効率的な審査を心掛けるとともに、同時に溶け込ませ後の全文チェック機能を活用し、改正箇所以外の引用条文のずれ、字句の改正漏れ等の確認を行い、全体的な正確性の向上に努めた。
また、新例規システムと連携されている法令改廃情報等から随時情報収集を行い、改正の必要な例規について担当課に情報提供を行った。

■ 評価

- 1 例規システムの各種機能を活用し、事務局内での法制執務事務の効率化、正確性の向上が図れたとともに、改正箇所以外についての情報提供を担当課に対してすることができた。
法令改廃等の情報提供により、改正漏れを減らすことができた。
- 2 加除式図書の利用状況、インターネット情報サービスの活用の提案はできず、追録費の削減等には至らなかった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	2
事業名	情報公開・個人情報保護事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な行財政運営
	小分類		
目的	<p>情報公開により町民の町政に対する理解と信頼を深め、参加を促進する。 個人情報について、その利用が著しく拡大していることを鑑み、各課職員に情報の適正な取扱いをするよう注意喚起を促すとともに、町の実施機関が保有する個人情報の開示、訂正等を請求する権利を明らかにすることにより、個人の権利利益を保護し町政の公正で適正な運営を図る。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開・個人情報保護審査会事務局 ・ 情報公開・個人情報事務手続き ・ 公文書回収運搬（機密文書溶解廃棄） ・ 永年・10年保存文書管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文書管理システム稼働 ・ ・ ・ 	
現在における経過又は課題	<p>公文書等の管理に関する法律が施行され、行政文書の適正な管理が求められている。 文書管理システムの正常稼働、システムを利用した文書管理の徹底。</p>		
平成25年度の目標又は改善策	<p>平成24年度にて公文書管理法及び情報公開条例に対応できるよう、文書管理システムを導入した。4月から本稼働が開始となるシステムを使用し各課担当が受付業務等スムーズに行えるよう支える。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4～	文書管理システム本稼働
12	機密文書の廃棄

□3年間の目標

項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	107	15,825	928
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工	0.2	0.3	0.3
	臨時職員	人工			
	計	人工	0.2	0.3	0.3

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
新	委託料	693	693	文書保管システム保守

■特記事項

4月から文書管理システムが本稼働となり、より精度の高い文書管理が可能となるうえ、各課担当で簿冊の登録および検索を行えるようになる。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

4月から文書管理システムを本稼働させた。

■ 評価

システムを使用し各課担当が受付業務等スムーズに行えるようサポートできた。しかし、文書管理システムに不具合があり、機能を十分に活用するところまで至っていない。
今後は不具合の修正とバージョンアップ等を行い、職員への周知とシステムへの活用を図っていきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	3
事業名	非核平和推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む。
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	中学生を広島平和記念式典に派遣し、原爆の恐ろしさ戦争の悲惨さを学び、平和を愛する気持ちを育てることを目的とする。また、町民に対し原爆パネル展及び平和祈念式を開催し平和について考える機会とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島長崎原爆パネル展の開催 ・ 中学生の広島平和記念式典への派遣 ・ 大口市平和祈念式典 ・ 		
現在における 経過又は課題	大口市平和祈念式の中で戦争の悲惨さ平和の大切さをあらためて考えていただく機会として、中学生による広島派遣報告及び町民の方による「戦争時経験談」を開催しているが、経年とともに戦争時の経験を話せる人が減少している。		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	年度の早い時期に戦争時の経験を語っていただく方の確保。また、健康文化センター、中学校等において、断続的にパネル展を行い、1人でも多くの子供たち等に平和について考えていただく機会の確保を図る。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
6	パネル展の開催
7	広島派遣中学生結団式及び研修
8	広島平和記念式典に中学生派遣 大口町平和祈念式（中学生の派遣報告など）

□3年間の目標

項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	735	804	788
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工	0.2	0.3	0.3
	臨時職員	人工			
	計	人工	0.2	0.3	0.3

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

パネルは日本非核宣言自治体協議会から無償で貸与していただき、健康文化センター、大口中学校で展示を行った。

■ 評価

パネル展は継続して行うことができている。

戦争時体験談を語っていただける方の確保は難しく、25年度も確保することができなかった。

24年度から町平和祈念式と中学校勉強会を同日開催したことにより、それぞれの事業の中にある戦争時体験談と語り部の話が重複するため、祈念式内での戦争時体験談を止め、中学校の勉強会の中で語り部の話を聞くことにした。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	4
事業名	行政対応事務事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	<p>郵便管理業務等の行政事務の円滑な運用を図る。 住民の窓口ともなる宿日直、電話交換業務の管理運営 固定資産評価審査委員会の運営 指定管理者選定審議会・指定管理者評価委員会の運営</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産評価審査委員会 ・ 指定管理者選定審議会、指定管理者評価委員会 ・ 新聞購読、行政消耗品管理 ・ 郵便管理業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿日直、電話交換、法律相談委託業務 ・ 町名案内板管理 ・ ・ 	
現在における 経過又は課題	<p>平成24年度に実施した指定管理者の中間評価の中で、自己評価、個別評価、総括評価の評価方法が分かりづらいという意見が委員から出され、評価委員会で見直しを行ったが、その内容を反映するのが本年度からとなる。</p>		
平成25年度の 目標又は 改善策	<p>平成25年度指定管理者評価委員会による中間評価が、健康文化センター・老人福祉センターの指定管理者に対し行われる。見直し後の評価方法により住民サービスの向上、経費の効率的な活用などを検証し、指導、助言を通じて制度導入の達成度を高める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
6	指定管理者評価委員会への準備
7	指定管理者評価委員会（中間評価）

□3年間の目標

項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	19,341	21,099	20,588
(内特定財源)		千円	100	119	96
人工	職員	人工	1.3	1.0	1.0
	臨時職員	人工			
	計	人工	1.3	1.0	1.0

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
自衛官募集事務市町村委託金	35	
県証紙売捌委託金	61	
合計	96	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

24年度から、評価方法について、自己評価及び個別評価の評価基準を指定管理者からの事業計画を基に評価を行うことに見直した。その見直し内容について、評価委員、各担当者へ再確認し助言を行い、指定管理者制度導入目的の達成度の向上に努めた。

■ 評価

健康文化センターと老人福祉センターの中間評価に見直し後の評価方法で適切に評価を行うことができた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	5
事業名	設計・契約等適正化事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	各種案件の設計審査、入札、検査等及び入札参加資格に関する適正な執行を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加資格審査業務 ・ 設計内容の審査、業者選定、入札・契約・ 検査に関する業務 ・ ・ ・ 		
現在における 経過又は課題	<p>国が進める総合評価落札方式を、過去2カ年、制限付一般競争入札にて実施しましたが、総合評価落札方式によるメリットについて、十分な検証をするまでに至っていない。</p>		
平成25年度の 目標又は 改善策	<p>平成23、24年度においては、土木工事にて制限付一般競争入札による総合評価落札方式を施行しましたが、平成25年度は建築工事において施行し、他業種についても検証を行う。また、総合評価による評価項目に、地域貢献度（ボランティア活動実績・災害協定等に基づく実績等）や技術力（技術者の資格等）を設ける他に、災害時を想定した評価項目を設けることで、施工業者の地域貢献及び技術力等の向上と併せ、継続的に災害に対する意識づけを行っていくよう、平成25年度についても、総合評価落札方式を引続き試行し、検証を行う。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	【総合評価】
3	対象工事の選定、担当課と協議
4～	指名審査委員会にて協議・審査
6	愛知県建設部評価審査委員会へ諮問・公告・入札

□3年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	179	185	101
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工		1.0	1.0
	臨時職員	人工			
	計	人工		1.0	1.0

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

総合評価落札方式は、平成20年度より土木工事にて実施しているが、平成25年度は建築工事にて検証を行った。評価項目として、建築工事においても災害時を想定した項目を設けた。

■ 評価

（仮称）防災備蓄倉庫建設工事において制限付一般競争入札を総合評価落札方式で行い検証した結果、評価項目に災害時を想定した項目として大口町地域防災計画に記載の「応急危険度判定士」の登録者数を含めたことで、施工業者の地域防災への意識づけや地域貢献度を評価することで、ボランティア活動等に対する意欲が高まる効果が見込まれた。
そのため、引続き総合評価落札方式を制限付一般競争入札において試行し、検証を行う。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	6
事業名	財産管理事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	庁内管理規則の規定により、本庁舎の使用の規制及び秩序の維持に努め、もって本庁舎における公務の円滑かつ適正な執行を確保する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎消耗品、備品管理 ・ 庁舎施設、設備等の保守管理 ・ 公共施設の施設賠償保険、現金動産等の保険加入、適用等の事務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町有財産の維持管理、払い下げ ・ ・ ・ 		
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 庁舎空調設備、電話設備等の経年劣化に伴い、経済的、効率的な改修が必要となるが、突発的な緊急修繕は常に発生するため、そのような修繕に対応できる改修計画を策定する必要がある。 2 災害等による長期停電に備え、非常用電源を確保する必要がある。 		
平成 25 年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> 1 経年劣化による維持修繕を考慮した庁舎空調設備、電話設備等の効率的な更新計画を策定する。 2 災害等による長期停電に備えるため、社会資本整備総合交付金事業を活用し、長時間使用が可能な非常用自家発電設備を整備するための実施設計業務を行う。また、再生可能エネルギー等導入推進基金事業を活用し、ボランティア活動への電源確保を行うための実施設計業務を行う。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
6	<ul style="list-style-type: none"> 非常用電源設備設計業務発注 庁舎空調設備、電話設備等の更新計画を検討する。 庁舎空調設備、電話設備等の効率的な更新計画業務発注に向けての予算を計画する。 国の補助制度を活用し、平成26年度の非常用電源設備発注に向けて予算を計画する。
7	
10	

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> 過去の修繕履歴を参考にしながら、平成26年度の庁舎の空調設備、電話設備、庁舎外壁塗装等の設計業務発注に向け修繕方針を決定する。 平成25年度に非常用電源設備設計業務を発注、その成果をもって平成26年度に非常用電源設備を発注する。 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
庁舎修繕計画				計画準備	計画作成	実施
非常用電源設備				計画	実施	

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎空調設備、電話設備、外壁塗装等の修繕設計業務を発注する。 非常用電源設備を発注する。
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎空調設備、電話設備、外壁塗装等の修繕工事に着手

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	49,772	40,553	41,038
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工	1.0	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0.0	0	0
	計	人工	1.0	0.5	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
新	非常用電源設備設計業務委託料	1,175	1,175	非常用電源設備設計業務

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 1 経年劣化による維持修繕を考慮した今後3年間の庁舎空調設備、電話設備等の更新計画を策定した。
- 2 災害等による長期停電に備えるため、社会資本整備総合交付金事業を活用し、長時間使用が可能な非常用自家発電設備を整備するための実施設計業務を行い、成果を得た。
また、再生可能エネルギー等導入推進基金事業を活用した、ボランティア活動への電源確保を行うための実施設計業務については、基金の交付が見込めないため実施設計業務は見送りした。

■ 評価

- 1 今後3年間の庁舎空調設備、電話設備等の更新計画を策定した。
この計画に基づき平成26年度から庁舎の維持修繕を行う。
- 2 非常用自家発電設備の実実施設計業務（町単独事業）の成果を得た。
平成26年度は社会資本整備総合交付金事業（国庫補助）を活用し、災害等による長期停電に備えるため、この成果を基に長時間使用が可能な非常用自家発電設備を整備する。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	7
事業名	公用車管理事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	<p>公用車 15 年更新計画に基づき、購入及びリースを計画的に行い、適正な公用車の管理・維持に努め、公務の円滑な執行を確保する。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車消耗品・備品管理 ・ 公用車の保守・維持管理 ・ 公用車の賠償保険、新車の保険加入等の事務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車買い替え事務 ・ 公用車事故等の対応 ・ 燃料単価契約事務 ・ 公用車（1、2号車・バス）運転委託事務 	
現在における経過又は課題	<p>単年度財政負担の軽減を目的に平成13年度以降、リース車両を導入してきたが、トータル年数で支払う金額は割高であるため、長期使用するうえでは新規で購入したほうが有利と考えられる。</p>		
平成 25 年度の目標又は改善策	<p>現在使用しているリース車両を公用車更新計画に基づき計画的に購入車両に切り替える。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
05	<p>1号車のリース契約を終了し、走行距離の少ない2号車を1号車として引続きリース契約を継続する。</p> <p>平成24年度に購入した環境配慮車を2号車とし、空車時には職員も使用する。</p> <p>また、上記環境配慮車を2号車とすることで職員の使用が制限されるため、出張や荷物の運搬にも利用できる乗用バンタイプの車両を1台購入する。</p>
12	<p>健康文化センターで使用している小型乗用車2台が15年経過するため廃車し、小型環境配慮車と軽自動車を新規購入する。</p>

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	16,264	21,884	19,061
(内特定財源)		千円		(100)	
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工			
	計	人工	0.5	0.5	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	賃借料(自動車)	2,217	△1,863	1号車1台削減及び再リースによる減額
	公用車購入費	4,450	△400	公用車15年更新計画による購入車両の車種の相違

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

公用車更新計画に基づき 1 号車をリース期間満了に伴い返却し、乗用バンタイプの車両を購入した。

■ 評価

リース契約車両 8 台のうち 1 号車をリース期間満了に伴い返却し、2 号車とバンタイプ車両の再リース契約した結果、賃借料を 1 2 5 万円程削減できた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	8
事業名	庁内LANシステム運用事業		
総合計画の体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	各課の課題への対応、かつ、住民サービス向上のために今日の行政事務に不可欠な要素の一つとして、インターネットにつながる「情報系」コンピュータ等が設置されている。その電子計算組織（情報処理システム）の円滑な運営及び安定稼働を目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策 ・情報系システム（グループウェア）運用支援 ・セキュリティポリシー ・LGWAN管理 ・情報系システムの機器保守 ・情報系システムの機器リース ・セキュリティ監査・監視 		
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 内部情報系システム機器は、平成19年度に導入してから5年が経過している。そのため、サーバシステム及び機器更新が必要となる。 2 迷惑メール対策サーバの使用期限が平成24年度で終了する。そのため機器更新をする必要がある。 		
平成25年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none"> 1 内部情報系システム機器更新に伴い、グループウェアシステムの見直しを行い、セキュリティ対策を強化した計画案を作成する。 2 機器更新に伴い、より安全性が確保できる迷惑メール対策ソフトを選定する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容	
随時 1 1	【内部情報系システム機器更新】 既存システム更新業者との打ち合わせ （月 1 回程度） 仕様書案の作成	【迷惑メール対策】 迷惑メール対策サーバ機器更新

□3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・グループウェア機器更新 ・ 					
項 目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
グループウェア機器更新			計画作成	仕様書案作成	機器更新	

□2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報系内部システム機器更新（サーバ及びクライアント） ・グループウェア更新
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内 LAN 線工事 ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	18,340	17,745	18,170
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.8	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.8	0.5	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
新規	保守点検委託料	3,786	△334	グループウェアサーバ機器保守 スポット対応に切替えのため減額
新規	ネットワーク管理委託料	3,000	3,000	複合機管理サーバ設置、迷惑メール対策サーバ更新、LGWAN 振分サーバ更新のため増額
臨時	賃貸借料	3,119	△7,516	リース切れグループウェアサーバ及びクライアント機器使用
随時	庁用備品購入費	4,847	4,847	複合機サーバ機器一式、迷惑メール対策サーバ機器一式、LGWAN 振分サーバ機器一式を購入

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 1 内部情報系システム機器の更新については、平成25年度当初の予定では計画案を作成し、平成26年度中に機器更新を行う予定であったが、基幹系機器更新の目途が立ったことやWindowsXP問題、消費税増税を考慮して、9月補正予算で予算措置をすることとなった。急遽今年度機器更新をすることとしたため、既存業者と打合せを定期的に行い、Window8を160台及びWindows7を40台を混在させ、5年後のWindows7問題を見据えて、パソコンを導入した。また、セキュリティにおいては不正端末検知装置の導入などセキュリティの強化を行った。
- 2 既存の迷惑メール対策ソフトではないソフトを試験的に導入してもらい、使い勝手や迷惑メールフィルターの検証を行った結果、既存のシステムと同等のフィルター機能があり、使い勝手も良く、操作しやすいことから新しい迷惑メール対策ソフト及びサーバを導入することとした。

■ 評価

- 1 Window8とWindows7の混在した状態であるが、職員の大きな混乱もなく機器更新をすることができた。
OSを使い分けることで、国が提供する特有のソフトへの対応ができた。また、以前までは職員個人専用のパソコンとして1台配置していたが、機器更新後は、個人専用のパソコンではなく、課所属のパソコンとすることにより、共有してパソコンを利用することができ、単独システム用のパソコンを配置しなくてもよくなった。
- 2 旧迷惑メール対策ソフトについては、設定が分かりにくかったため、設置業者の指導を仰ぎながら設定を行っていたが、新迷惑メール対策ソフトについては、日本語表記ということもあり、設定項目がわかりやすいため、確認や設定などが素早く対応することができた。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	9
事業名	電子計算機運用事業		
総合計画の体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	住民サービス提供のために今日の行政事務に不可欠な要素の一つである、情報網で接続された電子計算機器からなる基幹系電子計算組織（情報処理システム）の円滑な運営及び安定稼働を目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ Gコア総合住民情報システムの安定・ 法令改正等によるシステム改修・ 機器、システムの保守・ 不正アクセスの監視・ 大口町データ管理委員会・ 大口町電子計算機運営委員会		
現在における経過又は課題	<ol style="list-style-type: none">1 基幹系サーバ機器及びクライアントの機器更新において、サーバ機器の設置場所を自庁型サーバ方式とクラウド型サーバ方式で検討をしていた。再リースをしている基幹系サーバ及びクライアント機器の更新が必要となる。2 法改正が行われた場合、システム改修に向けての対応が必要となる。		
平成 25 年度の目標又は改善策	<ol style="list-style-type: none">1 検討をした結果、災害に強いクラウド型サーバ方式を導入する。またセキュリティについて見直しを行い、セキュリティ強化を実現する。2 平成 23 年度及び平成 24 年度に引き続き、住基法改正に伴うシステム改修において、関係各課とシステム改修業者との連携を支援する。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容		
4	【基幹系機器更新】 セキュリティ及び仕様書最終確認 入札及び契約	4	【住基法システム改修】 システム改修に伴う契約 (随時)
随時	システム更新業者との打ち合わせ（設定の 確認） (月1回)		システム改修業者、関係各課との打ちわ せ
10	機器更新完了 社会保障 web の操作研修		

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹系機器の更新 ・新後処理機の更新 ・住基法改正に伴うシステム改修 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
基幹系機器の更新	計画作成	計画作成	仕様書案 作成	10月機 器更新		
新後処理機の更新			入替未実 施	入替予定		
住基法改正によるシス テム改修		第1次 実施	第2時 実施	第3次 実施・完了		

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・配信用総合型地理情報システム機器選定 ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・配信用総合型地理情報システム機器更新 ・平成28年度日本語ラインプリンタ（NLP）の更新検討 ・住基ネット IC カード発行システム機器更新

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	100,504	93,734	149,851
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1.0	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	1.0	0.5	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
県民税徴収取扱費交付金	12,600	04 電子計算機運用事業
合計	12,600	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
新規	保守点検委託料	7,678	1,566	ミドルウェア保守分増額
臨時	電子システム開発委託料	31,710	△23,814	住基法に伴うシステム改修費が前年度比より減額
臨時	歳入事務計算委託料	4,649	398	銀行間のデータ転送化対応
臨時	総合住民情報システム再構築委託料	51,902	51,902	総合住民情報システム再構築のための経費
新規	使用料	16,712	4,269	クラウド化に伴う使用料及び回線使用料分増額
新規	賃借料	3,960	△4,604	基幹系システム機器更新に伴うクラウド型サーバ方式とするため減額
臨時	庁用備品購入費	27,558	27,558	基幹系クライアント機器及び住民基本台帳ネットワークサーバ機器一式購入分

■特記事項

■目標又は改善策に対する取組内容

- 1 平成24年度計画どおり基幹系システム機器更新に伴い、データセンターにメインサーバを置くクラウド化を10月より実施した。また、庁舎内のパソコンについてもセキュリティを見直し、パソコン起動時にICカードを利用した認証の導入などを行いセキュリティを強化した。
- 2 住基法改正に伴うシステム改修において、外国人の住民コードの附番をするため、システム改修業者との連携を支援した。

■評価

- 1 クラウド化に伴いデータセンターと役場間でデータ通信を行う必要があるが、以前と変わらない速度で処理することができた。またセキュリティにおいては、Webシステムにログインする際のID及びパスワードだけでなく、パソコン起動時にICカードを認証することで、2重のセキュリティをかけることができた。
- 2 住基法改正によるシステム改修においては、戸籍保険課やシステム改修業者と調整をし、外国人の住民票コードを通知することができた。また、住民基本台帳ネットワークシステムにおいて、システム間のデータ転送も特に問題もなく稼働している。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	10
事業名	選挙管理委員会事業		
総合計画の 体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	選挙制度の啓発と選挙事務の適正執行を図る		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙管理委員会開催 ・ 選挙啓発 ・ 選挙人名簿定時登録事務 ・ 在外選挙人登録事務 		
現在における 経過又は課題	<p>現在の委員になって、初めての大口町選挙管理委員会が主体となる選挙（町長選挙）が執行される。</p> <p>参議院議員通常選挙及び大口町長選挙の適正執行</p>		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<p>町長選挙が適正に執行できるよう執行前に委員と事務局との研修会を開催する。</p> <p>本年度施行される 2 つの選挙について、滞りなく運営できるよう取り計らう。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
6	選挙人名簿定時登録
7	参議院議員通常選挙
9	選挙人名簿定時登録 研修会の開催
10	町長選挙
12	選挙人名簿定時登録
3	選挙人名簿定時登録

□3年間の目標

項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	4 1 2	5 3 7	5 3 3
(内特定財源)		千円	1	2	2
人工	職員	人工	1. 2	0. 5	0. 8
	臨時職員	人工			
	計	人工	1. 2	0. 5	0. 8

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
在外選挙人名簿登録事務費委託金	2	
合計	2	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

現在の委員になって初めての大口町選挙管理委員会が主体となる選挙（町長選挙）を執行して、事前に日程や概要を委員と事務局で内容確認しながら準備し、選挙の適正な執行に努めた。

■ 評価

3月、6月の選挙管理委員会開催時に、日程や概要を委員と事務局で協議し事前準備に努めた結果、選挙が適正に実施できた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	11
事業名	各選挙事業		
総合計画の 体系	大分類	5	各選挙事業
	小分類		
目的	各種選挙を滞りなく適正に実施する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参議院議員選挙 (H25. 7) ・ 大口町長選挙 (H25. 10) ・ ・ 		
現在における 経過又は課題	<p>選挙経費の縮減。 開票時間の短縮。</p>		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<p>参議院議員通常選挙及び大口町長選挙が施行される。前回執行された選挙における注意点や改善点を踏まえ、経費縮減を念頭に適正な執行を図る。また次回の選挙時に役立つ資料、マニュアル化できる部分は手順書として残すとともに改善点のとりまとめを行う。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
7	参議院議員通常選挙 選挙に係る資料の整備及びマニュアル化できる部分については手順書として残す
10	大口町町長選挙 同上
3	平成26年実施の選挙（農業委員会、県知事）に向けて改善点のとりまとめ

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	8,650	1,159	28,966
(内特定財源)		千円	392	1,159	17,096
人工	職員	人工		0.5	0.5
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		0.5	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
参議院議員通常選挙委託金	17,096	3 参議院議員通常選挙事業
合計	17,096	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
新	参議院議員通常選挙事業	17,096	17,096	参議院議員通常選挙
新	町長選挙事業	11,870	11,870	町長選挙

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

自動読取機を新規に導入し、開票時間短縮による経費縮減を念頭に人員配置や開票事務の流れの見直しを行い、参議院議員通常選挙及び大口町長選挙の適正な執行に努めた。
また次回の選挙時に備え資料を作成した。

■ 評価

自動読取機の導入により選挙の執行がスムーズに行え、開票時間が1時間程短縮され経費縮減を図ることができた。今後も引続き開票時間の短縮と経費削減に努める。

遠隔地投票や代理投票など各種投票方法を広報や案内チラシなどで周知に努めた。今後も啓発に努めるとともに、全ての投票者が投票しやすい環境づくりに取り組む。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	12
事業名	統計事業		
総合計画の体系	大分類	5	効率的な財政運営
	小分類		
目的	行政活動の基礎データや、社会全体で利用される情報基盤として活用するため、一定の条件のもとに各種の統計調査を実施し、経済の発展や生活の向上に寄与する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・統計調査員確保対策事業 ・工業統計調査 ・農林業センサス ・住宅・土地統計調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済センサス調査区管理・基礎調査準備 ・商業統計調査準備 ・ ・ 	
現在における経過又は課題	統計調査において、5年に1回の統計調査、一部を対象とした調査、毎年実施している調査がある。5年に1回の統計調査及び一部を対象とした調査については、余り知られていない統計調査が多く、調査対象者の理解、協力が困難なケースもあり、統計調査の趣旨を理解してもらえるよう努める必要がある。正確な数値を調査用紙に記入してもらう必要がある。		
平成25年度の目標又は改善策	調査員に対し、各種調査説明会を実施し、調査の趣旨及び項目内容を理解してもらうとともに、登録調査員のスキルアップを図るための研修会、学習会等を行う。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
9	住宅・土地統計調査説明会
10	農林業センサス説明会
11	調査員学習会の開催（統計調査員確保対策事業）
12	工業統計調査説明会
随時	経済センサス調査区管理 経済センサス基礎調査準備 商業統計調査準備

□3年間の目標

目標	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	709	1,059	1,450
(内特定財源)		千円	706	1,056	1,440
人工	職員	人工	0.8	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.8	0.5	0.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
経済センサス事務市町村交付金	33	09 経済センサス事業
工業統計調査事務市町村交付金	445	06 工業統計調査事業
農林業センサス事務市町村交付金	13	07 農林業センサス事業
住宅・土地統計調査事務市町村交付金	919	08 住宅・取り統計調査事業
商業統計調査事務市町村交付金	20	11 商業統計調査事業
統計調査員確保対策事業市町村交付金	10	03 統計調査員確保対策事業
合計	1,440	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
臨時	農林業センサス調査	13	13	平成25年度実施事業
臨時	住宅・取り統計調査	919	919	平成25年度実施事業
臨時	商業統計調査	20	20	平成25年度実施事業

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

調査員に対し、各種調査説明会を実施し、調査の趣旨及び項目内容を理解していただいた。
登録調査員のスキルアップを図るための研修会を行った。

■ 評価

各種調査説明会では初めて調査員をする方にも理解できるよう分かりやすい資料を心掛けた。
研修会では、登録調査員のスキルアップや調査員確保に対する理解をしていただいた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	行政課	No.	13
事業名	土地取得特別会計事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	町の土地取得事業を円滑に行うため、用地先行取得事業にかかる歳入歳出の経理を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(用地先行取得費) 用地を先行取得するために、土地開発基金から貸し付けを受け、用地を取得するもの。 ・(土地開発基金繰出金) 土地開発基金の預金利子収入を同基金に積み立てするもの。 ・ ・ ・ 		
現在における経過又は課題	平成10年度に余野区画整理事業で生じた残地7筆(309.38㎡)を購入しているが、地区の交換分合の進捗状況を見ながら、対応について検討していく必要がある。		
平成25年度の目標又は改善策	中小口地区の交換分合の進捗を見ながら、一般会計での買い戻し時期を検討する。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	土地開発基金運用益を同基金に積み立てする。

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円		184	184
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工		0.1	0.1
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		0.1	0.1

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

中小口地区の交換分合の進捗に併せて、北保育園の西側に隣接する土地31筆、1892.25㎡を先行取得し、その内の20筆、1297.25㎡を保育園用地として一般会計で買い戻しを行った。

■ 評価

北保育園西側に隣接する区域における土地開発に併せて、北保育園の拡張用地を先行取得できた。